

# 3次元画像可視化システム BS-VA

## BEAMSENSE Volume Analyzer

BEAMSENSE CTで作成した3D画像情報から、より詳細に画像情報を分析するための3DCT画像計測解析ソフトです。これは、岩手県立大学発ベンチャーの株式会社アイプランツシステムと共同で開発しました。

### 概要

- BS-CTで作成した3DCTデータ(. 3dv、VIF/VOLファイルなど)から、3D計測、部位抽出、等値面生成・編集などの他、3次元画像クリッピングや画像フィルタ、3次元断面表示、輝度分布を示すピクトグラムなど各種のユーティリティーを有しています。

### 適用用途

- 3D画像内の2点間、多点間距離、角度計測などの計測。
- 3次元画像内のボイドの大きさと個数と体積比率の算出。
- 吸収係数の大きく異なる材料の体積比率の算出。
- 3DプリンタのためのSTLデータの作成。

### 機能内容

- データ読込・スライス画像群読込
  - ・ BS-CTで作成した . 3dv、VIF/VOLファイル
  - ・ DICOM RAW BMP JPEGフォーマットなどのスライス画像群
- ボリュームレンダリング
  - ・ . 3dvやVIF/VOLファイルなどの3Dデータを3次元画像として表示します。
  - ・ DICOM RAW BMP JPEGフォーマットなどのスライス画像群を重ね合わせて、3次元画像として表示します。
  - ・ 輝度毎に「色」と「透明度」を設定することで、輝度値の異なる部分を部位別にカラー表示できます。
- 3D計測
  - ・ 3次元画像の「長さ」や「角度」、「面積」、「体積」を3方向の画像を確認しながら、マウスによる操作で計測することが出来ます。
- 部位抽出(セグメンテーション)
  - ・ 「対話型セグメンテーション」「領域拡張法」「ヒストグラムベース」により、領域を抽出、3次元形状モデルの構成を行うことで、データベースの活用の可能性を広げます。
- 等値面生成・編集
  - ・ 3次元画像データを元に3次元形状モデルを再構成し、「穴埋め」「面貼り」「反転」などの編集を行うことが可能です。また、面の構成エラーをチェックする機能がありますので、エラーの少ない形状モデルを作成出来ます。
- ユーティリティー
  - ・ DICOM画像管理ツール、3次元画像クリッピング、画像フィルタ、3次元断面表示、ファイル情報表示、輝度分布を示すヒストグラム、WindowW/L設定、画像キャプチャ、等方ボクセル化、球体や円筒による切り出し機能など各種ツールを備えています。



3次元可視化システムソフト  
BS-VAのジャケット

#### 【お問い合わせ先】

株式会社ビームセンス  
BEAMSENSE CO., LTD.

〒564-0041 大阪府吹田市泉町2-19-16

TEL/FAX: 06-6384-9563 URL: <http://beamsense.co.jp/>

2017.06.05

2018.06.01